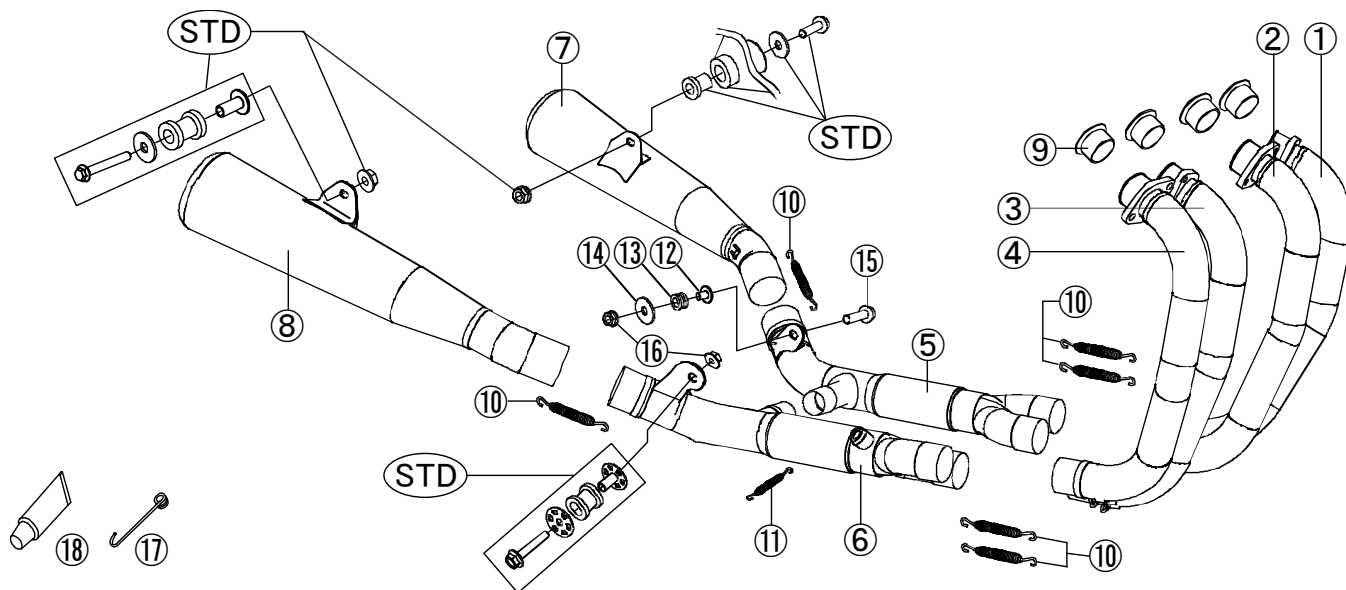


MORIWAKI MEGAPHONE Ti
Honda '17-CB1100EX/RS、'19-CB1100

Part No: 01810-H21P2-00



STD は取り外した純正パーツを再使用しますので、お手元に保管して頂くようお願いします。

【構成部品】


No.	部品番号	商品名	入数	単価(税込)	No.	部品番号	商品名	入数	単価(税込)
1	18110-H21G1-00	フロントパイプ#1 Ti	1	¥22,000	12	0312-11250-F010	グロメットカラー	1	¥352
2	18120-H21G1-00	フロントパイプ#2 Ti	1	¥22,000	13	18344-KA3-830	グロメットラバー	1	¥308
3	18130-H21G1-00	フロントパイプ#3 Ti	1	¥22,000	14	030A-08251-5100	ワッシャー8ミリ	1	¥77
4	18140-H21G1-00	フロントパイプ#4 Ti	1	¥22,000	15	90140-08030-41	フランジキャップボルトM8×30	1	¥138
5	18210-H21P1-00	ミドルパイプL Ti	1	¥50,600	16	94050-08000	フランジナットM8	2	¥110
6	18220-H21P1-00	ミドルパイプR Ti	1	¥50,600	17	3A32-00000-00T0	スプリングブラー	1	¥220
7	18910-H21P2-00	サイレンサー-L Ti	1	¥55,000	18	860-806-0600	シールボンドME30	1	¥660
8	18920-H21P2-00	サイレンサー-R Ti	1	¥55,000					
9	18117-L3181-00	マウスピースインナーカラー	4	¥1,320					
10	0A02-08709KK21	スプリングロング	6	¥594					
11	0A02-06009FH21	スプリングショート	1	¥407					
					取扱説明書、排ガス証明書				

【製品仕様】

製品名	MORIWAKI MEGAPHONE 2本出し Ti	商品重量	6.7kg
適合機種	Honda '17-CB1100EX/RS, '19-CB1100	オイル交換	本製品脱着不要
型式	ホンダ・2BL-SC65	フィルター交換	本製品脱着不要
インジェクション	純正状態	センタースタンド	使用不可
エンジン仕様	純正状態	JMCA認定番号	JMCA2117007073
排気音量	近接: 89dB/加速: 80dB	その他	17-CB1100 取付不可

【必要工具】

ソケットレンチ, スパナ, メガネレンチ	12mm	各1本	ユニバーサルジョイント	1本
ヘキサゴンレンチ	6mm	1本		
フレアナットソケット※またはHONDA推奨工具	17mm	1本		


注意

- ① 作業する時は、けが、やけど防止のため、軍手を着用して下さい。
- ② 作業するときエンジンを十分冷ましてから行なって下さい。やけどする恐れがあります。
- ③ 走行時に脱落などのトラブルが発生しないよう、各部の締め付けを十分確認して下さい。
- ④ 走行中振動によりボルト類が緩むことがありますので、定期的に増し締めを行って下さい。特に転倒後には、緩みやすくなりますので必ず点検して下さい。
- ⑤ 取り付け後、排気漏れの確認等でエンジンを始動する場合、周囲の安全を確認し、また通気の良い場所で行って下さい。
- ⑥ 車両にスイングアーム、ステップ等の改造がありますと装着できない場合があります。不正な改造によるマフラー破損等の返品はお受けしておりませんのであらかじめご了承下さい。
- ⑦ 転倒歴のある車両では、取り付けることができない場合があります。確実に取り付けることができない場合には本製品を使用しないで下さい。

【純正部品の取り外し】

車両の専用サービスマニュアルの手順に沿って、ノーマルマフラーを取り外して下さい。**センタースタンドは使用できません**ので取り外して下さい。

※部品構成表の「STD」の印がある部品は再使用しますので紛失にご注意ください。また、各部品、エンジンポートガスケットに経年劣化などがある場合は新品に交換する事をお勧めいたします。

※排気センサー(O2センサー)を脱着する時に専用工具、フレアソケットナット(図.1)もしくは、ホンダ推奨工具が必要となります

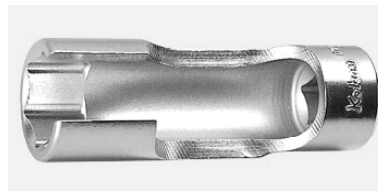


図. 1

【製品の取り付け】

- ① フロントパイプを車両へ仮組します。

図.2を参考に、フロントパイプにマウスピースインナーカラー(構成部品表 9番)を差し込んでから車体へ仮組して下さい。

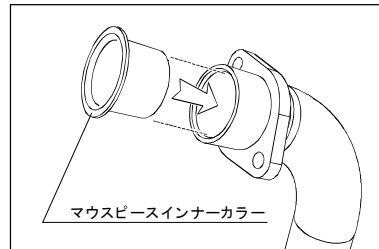


図. 2

注意：EX. フランジには向きがあります。取り付け時に向きを確認して下さい。

(図.3参照)

- ② 図.4を参考にミドルパイプL、RへO2センサーを取り付け、フロントパイプ差込部、ミドルパイプ差込部の内側にME30(構成部品表 18番)を適量塗布します。

注意：O2センサーの左右組み間違いに注意。

左側のO2センサーは左ミドルパイプへ、右側のO2センサーは右ミドルパイプへ

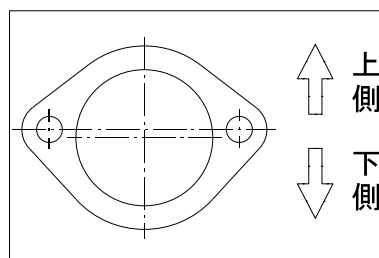


図. 3

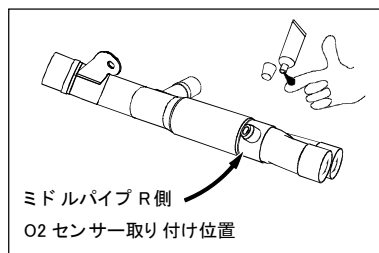


図. 4

③ ②の作業を終えたミドルパイプを車体へ仮組します。

・車体左側のミドルパイプの取り付けは、センタースタンドが取り付けしていた穴を利用し、図.5を参考にグロメットラバー類の必要パーツを取り付けた後、フロントパイプに差し込みミドルパイプステーを仮組します。(パーツ順は図.6を参照)

・車体右側のミドルパイプの取り付けは、ミドルパイプをフロントパイプに差し込んだ後、フレームステーにミドルパイプステーを固定します。固定には純正パーツのボルト、カラー、ワッシャー、グロメットラバー等を再使用します。(パーツ順は図.7を参照)

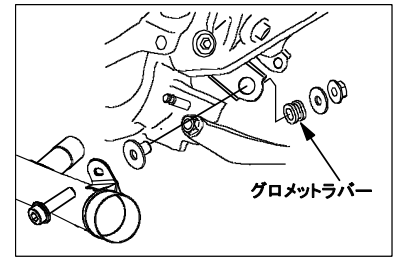


図.5

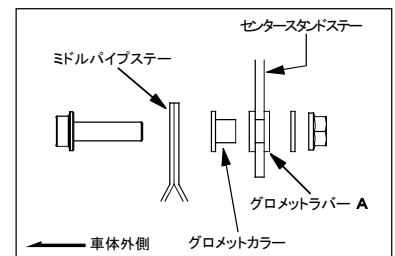


図.6

④ サイレンサーL・Rを車体へ仮組します。

・ミドルパイプ差込部の内側にME30(構成部品表 18番)を適量塗布し、ミドルパイプへ差し込みサイレンサーステーをタンデムステップへ仮組みします。

⑤ フロントパイプから順にスプリング(構成部品 10、11番)を引き、各パイプを固定します。

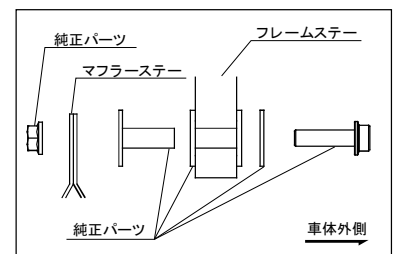


図.7

【取り付け仕上げ】

以下の順序で本締めしていきます。

① 純正 EX フランジナット

M8 締め付けトルク (22[N・m]/2.2[kgf・m])

② ミドルパイプステー(フレーム下側) フランジキャップボルト(L)/フランジボルト(R)/フランジナット


M8 締め付けトルク (22[N・m]/2.2[kgf・m])


③ サイレンサーステー 純正フランジボルト/純正フランジナット

M8 締め付けトルク (22[N・m]/2.2[kgf・m])

④ 各ボルトナット類の締め忘れが無いか再確認し、エンジンを始動します。

⑤ エンジンが無事始動したら、各部の排気漏れが無い事を確認します。

 エンジン排気ポート部分からの排気漏れがある場合は、今一度各部の締め付けを緩め、エンジンポートに的確になじむように締めなおします。

 エンジン始動後 15分程度は慣らし運転を行って下さい(吸音材の慣らし)。この時、白い排気ガスや、サイレンサーの水抜き穴から水蒸気等が出る場合がありますが、性能上問題ありません。

【セッティングについて】

モリワキストリート用マフラーは、すべてスタンダードの状態で性能が発揮されるように設計されています。
したがってマフラー装着にともなうインジェクションなどのセッティングの必要はありません。
もしマフラー交換に伴う性能悪化が見られるなら、まずエアクリナーやプラグ等を整備してもう一度確認して下さい。

【JMCA について】

全国二輪車用品連合会（JMCA）は、違法改造部品問題が直接の設立動機となり、警察庁をはじめ、国土交通省の指導のもと不法製品一掃とその製品に歯止めをかける活動をしています。

「JMCA 認定プレート」にて認可されたマフラーは、（財）日本車輛検査協会の公認検査を受け法規制値をクリアしたうえ、安全をみこした自主規制をも合格した製品です。

車検の際は、付属の排出ガス試験結果証明書が必要となりますので持参して下さい。

【メンテナンスについて】

マフラーボルトの緩み、排気漏れ、転倒による取り付け不良などを定期的に点検して下さい。
走行による汚れは、市販のピッチクリーナー等をご使用下さい。

同封の排出ガス試験結果証明書は、走行時にご携帯下さい。

本説明書は保管し、メンテナンス等の機会に活用するようにして下さい。

製品上の問題点、取り付け時の不明点等がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

記載内容、価格、仕様等は、製品改良のため、予告なしに変更する場合があります。

株式会社モリワキエンジニアリング

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町 6656-5

Tel 059-370-0090 Fax 059-370-0152

Home Page <http://www.moriwaki.co.jp>